



# 但馬国府・国分寺館ニュース

編集・発行

2012.11 第31号

但馬国府国分寺館  
Museum of Tajima Kokufu and Kokubunji

〒669-5305 兵庫県豊岡市白高町祢布 808  
TEL 0796-42-6111 FAX 0796-42-6112  
<http://www.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>



袴狭遺跡の遠景（北から／兵庫県立考古博物館 写真提供）

## 第28回企画展 はしかぎ 袴狭遺跡は但馬国府か!?

但馬国府は、『日本後紀』の延暦23年（804）正月条に記された記事から、移転したことが知られています。移転後の国府は、にようがもり祢布ヶ森遺跡周辺と考えられていますが、移転前の国府については明らかになっていません。

その移転前の国府候補地の一つに、袴狭遺跡があります。袴狭遺跡は、『古事記』や『日本書紀』にみられるアメノヒボコ伝承が多く残る豊岡市出石町に位置しています。これまでの発掘調査によって、役所の存在を示す多くの遺物や建物跡などが出土しています。今回の展覧

会では、袴狭遺跡の出土遺物を一堂に集め、袴狭遺跡が但馬国府なのかを考えます。

■会期 平成24年（2012）11月29日（木）～  
平成25年（2013）2月26日（火）

■展示協力機関・個人（50音順・敬称略）

いずし古代学習館 豊岡市立出土文化財管理センター  
兵庫県立考古博物館 池田征弘



## 袴狭遺跡の祭祀遺物

古代においては、都を中心に「祓」の儀式が執りおこなわれていました。袴狭遺跡やその周辺からは、祓の儀式で使った木製の祭祀具が数多く出土しています。その量は、日本全国で出土した木製祭祀具の約7割。これほど大量の木製祭祀具が集中する理由は明らかではありません。すべてを国府または郡衙の役人のために使ったものとは考えにくく、都の西北から悪霊などが入らないように祓をおこなっていた可能性も考えるべきかも知れません。



木製祭祀具の出土状況  
兵庫県立考古博物館写真提供



袴狭遺跡の木製祭祀具  
兵庫県立考古博物館写真提供

## 袴狭遺跡の出土品



土器・木製品・石製品集合  
兵庫県立考古博物館写真提供



草花飛鳥八稜鏡  
いずし古代学習館蔵



緑釉陶器 香炉蓋  
いずし古代学習館蔵



石帯  
いずし古代学習館蔵



箱形木製品（線刻画木製品）  
兵庫県立考古博物館写真提供



銅印「私」  
兵庫県立考古博物館写真提供

## 袴狭遺跡の水田

袴狭遺跡では、内田地区で見つかった役所の建物跡に隣接して、広大な水田跡が見つかっています。水田で使われた田下駄や農具が大量に見つかっていることから、袴狭遺跡で稲作が盛んだったことが分かります。

袴狭遺跡は、標高4～8mと低い土地に位置しています。そのため、低湿地が多く、水田耕作に適していたのででしょう。言い換えれば、役所の立地に適した安定した土地は少ないため、国府のような大規模な役所があった可能性は低くなります。



袴狭遺跡出土の田下駄  
兵庫県立考古博物館写真提供

## 袴狭遺跡は但馬国府か！？

袴狭遺跡の出土資料で、国府が存在した可能性を示すものは、養父郡からの米の荷札木簡1点のみ。それ以外の木簡は、郡衙で使われたと解釈でき、出石郡衙の存在を強く示しています。

また、主要な街道から外れ、低湿地に隣接した土地は、一般的な国府の立地からすれば不自然。出石神社の禁足地が広がる、社殿の裏側に国府が置かれていたとも考えにくいでしょう。

さらに、天平9年(737)の『但馬国正税帳』に記された記述からも、但馬国府は出石郡にあったとは考えられないと指摘されています。

以上のことから、袴狭遺跡は但馬国府ではなく、出石郡衙であったと考えられます。ただし、大量の木製祭祀具は、一つの郡衙で使う量をはるかに超えるため、祓の儀式を執りおこなう施設の存在も想定できます。今後も検討を重ね、袴狭遺跡がもつ祭祀遺跡としての性格についても、より具体的に明らかにしていきます。



『但馬国正税帳』(複製)  
 原品：正倉院宝物/但馬国府・国分寺館蔵

## 袴狭遺跡と祢布ヶ森遺跡

祢布ヶ森遺跡からは、「朝来郡」「養父郡」「七美郡」「<sup>ふたかた</sup>二方郡」など、但馬各郡の名前を記した木簡などが出土しています。木簡に記された内容や年号から、延暦23年(804)に移転してきた但馬国府であることが分かっています。

祢布ヶ森遺跡は袴狭遺跡に比べ、出土する農耕具の数が著しく少ないのが特徴です。木製祭祀具や農耕具は、国を統括する国府の中核施設で必要とされるものではないため、祢布ヶ森遺跡と袴狭遺跡の性格の違いが現れたものでしょう。



祢布ヶ森遺跡で見つかった大型建物跡

## お知らせ

### ■ 学芸員講座

「徹底検証！袴狭遺跡は但馬国府か！？」

発掘調査成果や文献などから、袴狭遺跡の性格を徹底的に追究します。

日 時：平成25年1月26日(土)

午後1時30分～3時

会 場：但馬国府・国分寺館 映像ホール

講 師：前岡 孝彰(当館学芸員)。

\* 予約不要。聴講には入館料が必要です。

\* 講座終了後、企画展の展示解説をおこないます。

## 但馬国府・国分寺館 ご利用案内



■ 開館時間 午前9時～午後5時  
 (入館は午後4時30分まで)

■ 休 館 日 毎週水曜日  
 (祝日は開館し、翌日休館)  
 12月28日～1月4日

■ 入 館 料 大 人 500(400)円  
 高 校 生 200(150)円  
 小中学生 150(100)円  
 \* ( )は20名様以上  
 \* 県内小中学生は無料  
 \* 65歳以上の方は半額

■ 最新情報はホームページもご覧下さい。  
<http://www.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>



国分寺館キャラクター  
 たじまる・くにひめ



ホームページ QRコード